

# 日本科学哲学会

## 第51回(2018年)大会

期日：10月13日(土)・14日(日)

場所：立命館大学 衣笠キャンパス 学而館

大会参加費：1,000円(非会員の方でもご参加いただけます)  
所在地：〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1  
交通案内：京都市バス・JRバス「立命館大学前」下車すぐ

### 10月12日(金)

サテライトイベント(18:30-20:50)《キャンパスプラザ京都 5階 第1講義室》

日本哲学会男女共同参画・若手研究者支援ワーキンググループ・日本科学哲学会共催

ワークショップ「科学哲学・分析哲学分野の若手研究者のキャリア形成を考える」

オーガナイザー：菅原裕輝(京都大学)

提題者：筒井晴香(東京大学)、石田知子(慶應義塾大学)、笠木雅史(名古屋大学)

### 10月13日(土)

研究発表(10:00-12:00)

《A会場(GJ309教室)》(10:00-12:00) 司会：1-2 鈴木生郎(鳥取大学)、3-4 中山康雄(大阪大学)

- 明日 誠一(青山学院大学)……………帽子をかぶっていない子供は、みんな女の子です。——事例研究：人は誤りから何を学ぶことができるのか?——
- 雪本 泰司(大阪大学)……………優先性一元論とジョサイア・ロイス
- 野上 志学(東京大学)……………形而上学における理論的对象
- 鈴木 雄大(国際武道大学)……………行為は出来事ではなく、プロセス(耐続する四次元的対象)である

《B会場(GJ310教室)》(10:00-12:00) 司会：1-2 岡本賢吾(首都大学東京)、3-4 岡田光弘(慶應義塾大学)

- 西牟田祐樹(慶應義塾大学)……………セキュリティ・プロトコル検証に应用可能である分解不可能な論理結合子について
- 小関健太郎(慶應義塾大学)……………マイノング主義論理におけるボトムアップの観点
- 三上 温湯(首都大学東京)……………ダメットの「意味理解の顕現化」概念の擁護
- 鈴木 佑京(株式会社ピコラボ)、山形 頼之(産業技術総合研究所)……………双側面説に基づく古典論理のための証明論的意味論

《C会場(GJ311教室)》(10:00-12:00) 司会：1-2 和泉悠(南山大学)、3-4 松阪陽一(首都大学東京)

- 田中 太一(東京大学)……………日本語受身文が表す〈悪影響〉
- 小川 文紀(大阪大学)……………動的な認識状態モデルベースのなぜ——疑問モデルを用いた語用論的説明理論
- 三木那由他(大阪大学)……………意図の無限後退問題とは何だったのか
- 藤川 直也(首都大学東京)……………Arbitrary reference: a probabilistic account

《D会場(GJ312教室)》(10:00-12:00) 司会：1-2 伊勢田哲治(京都大学)、3-4 松本俊吉(東海大学)

- 高橋 和孝(北海道大学)……………光の片道/往復速度と同時性
- 本間宗一郎(北海道大学)……………ヒュームのチャンスと決定論
- 網谷 祐一(東京農業大学)、伊勢田哲治(京都大学)……………種の論争はパーフィットから何を学べるか
- 北島雄一郎(日本大学)……………論理的観点からみた量子力学

理事会・評議員会・大会実行委員会(12:00-13:30)《会場：GJ308》

総会(石本賞授与式)(13:30-14:10)《会場：GJ402》

シンポジウム(14:15-16:45)《会場：GJ402》

「行動に還る—感情・表情・身体動作」

オーガナイザー・提題者：染谷昌義(高千穂大学)

提題者：河野哲也(立教大学)、長滝祥司(中京大学)、野中哲士(神戸大学)

特別講演(16:55-17:55)《会場：GJ402》

「身体姿勢と視知覚」

講演者：東山篤規(立命館大学)

司会者：戸田山和久

懇親会(18:00-20:00)

会場：諒友館地下 Cafe Rosso(カフェ・ロッソ)

会費：一般5,000円 学生もしくは求職中の研究者3,000円

ただし、お酒を飲まない方は以下のとおり

一般4,000円 学生もしくは求職中の研究者2,000円

### 10月14日(日)

ワークショップ(9:45-12:00)

I.「計算の哲学：推論および物理的現象との関係の再考に向けて」《会場：GJ402》

オーガナイザー：菊池誠(神戸大学)

提題者：立木秀樹(京都大学)、小柳義夫(高度情報科学技術研究機構)

三好博之(京都産業大学)

研究発表(10:00-12:00)

《A会場(GJ309教室)》(10:00-12:00) 司会：1-2 鈴木貴之(東京大学)、3-4 松本俊吉(東海大学)

- 山田 修司(東北大学)……………美的判断の認知主義と美的性質
- 八木 厚夫……………情報様相と現象的意識
- 勝亦 佑磨(東京大学、日本学術振興会)……………学習に基づくドレツキ表象論の検討——意味の因果的役割の問題に関して——
- 太田 雅子……………「自己欺瞞」の哲学を考える

《B会場(GJ310教室)》(10:00-12:00) 司会：1-2 戸田山和久(名古屋大学)、3-4 斉藤了文(関西大学)

- 斉藤 了文(関西大学)……………人工物に関わる所有権
- 清水 右郷(国立循環器病研究センター 医学倫理研究部)……………利益相反対策に関するミニレビューと課題抽出
- 九鬼 一人(岡山商科大学)……………《響き》と《ひねり》の言葉——新カント学派と現代価値論との対話
- 佐藤 広大(慶應義塾大学)……………間違った種類の理由と毒パズル

理事会・編集委員会・大会実行委員会(12:00-13:00)《会場：GJ308》

研究発表(13:15-14:15)

《A会場(GJ309教室)》(13:15-14:15) 司会：古田智久(日本大学)

- 林 晃紀(慶応義塾大学)……………治療的哲学から考察される規則に従うこと
- 大石 敏広(北里大学)……………パトナムの実在論と真理の概念

《B会場(GJ310)》(13:15-14:15) 司会：村上祐子(立教大学)

- 薄井 尚樹(三重大学)……………群衆バイアスモデルは帰属可能性としての道徳的責任を配慮しうるか
- 太田 和彦(総合地球環境学研究所)……………オープンサイエンスにおける公平性の倫理学的分析——知の表現を促す動線をどのようにデザインするか——

《C会場(GJ311教室)》(13:15-14:15) 司会：柏端達也(慶應義塾大学)

- 苗村弘太郎(京都大学)……………歴史における物語的説明
- 野村 尚新(国立情報学研究所)……………ダントーの物語り文の形式化の試み

《D会場 (GJ312 教室)》(13:15-14:15) 司会：飯田隆 (日本大学)

1. 鈴木 聡 (駒澤大学) .....Prolegomena to Materialization of Davidson's  
Measurement-Theoretic Account of Propositional  
Attitudes
2. 竹内 泉 (産業技術総合研究所) .....数学と変数 ——独立変数と従属変数——

ワークショップ (14:30-16:45)

II. 「質料形相論の多角的な検討と応用」《会場：GJ402》

オーガナイザー・提題者：横路佳幸 (慶應義塾大学)

提題者：桑原司 (上智大学)、千葉将希 (東京大学)

III. 「チームサイエンスの科学の日本推進を考えるハテナソン」《会場：GJ403》

オーガナイザー・司会者：佐藤賢一 (京都産業大学)、木村成介 (京都産業大学)

オーガナイザー・提題者：王戈 (科学技術振興機構)、佐藤賢一 (京都産業大学)

10月15日 (月)

サテライトイベント (11:00-13:00) 《会場：京都大学文学部》

Juha Saatsi 講演会「科学的実在論論争におけるグローバルな論争とローカルな論争」

オーガナイザー：伊勢田哲治 (京都大学)

提題者：Juha Saatsi (University of Leeds)